

若きウルトラアーティスト誕生の軌跡が、今年もここに。

# ULTRA AWARD 2011 Exhibition

the unprecedented competition for the students / graduates from Kyoto University of Art and Design

2011年10月8日(土)～10月23日(日) 会期中無休・入場無料

開館時間 平日 13:00～20:00 土・日・祝 12:30～20:00

会場 art project room ARTZONE (京都市中京区三条下一筋目東入の大黒町44VOXビル1・2階)



この度、河原町三条の art project room ARTZONE では京都造形芸術大学・ウルトラファクトリー主催による、『ULTRA AWARD 2011 Exhibition』を開催します。

「ULTRA AWARD」とは、学内生および卒業生(卒業生2年以内)を対象とした、世界で活躍できる次代のウルトラアーティストを発掘、育成するアート・コンペティションです。選抜された学生には制作補助費の支給と制作場所が提供され、さらに、ウルトラファクトリースタッフと審査員がセコンドとして付き、制作をサポートします。また、その過程はWebや展覧会カタログなどを通して、発信、ドキュメントされます。第2回目の開催となる今回は、厳正なる審査を経て5名のアーティストが選抜されました。彼らは独自の作品プランを提出し、それをもとに、ウルトラファクトリーを舞台に今まさに展覧会にむけて制作を進めています。

10月には、7月から約3ヶ月の制作期間を経て完成する、AWARD選抜者5名の最新作品が京都・三条 art project room ARTZONE にて披露されます。現在のアートシーンにおける、ひとつの扉をひらくような”事件”となるでしょう。会期初日に行われる公開審査会では、本アワードの最優秀賞も決定致します。若きULTRAアーティスト誕生の軌跡を、どうぞお見逃しなく。

[問い合わせ先]

京都造形芸術大学ウルトラファクトリー (担当: 古川・宮下)

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

TEL 075 791 8482 FAX 075 791 8204

www.ultrafactory.jp/ MAIL contact@ultrafactory.jp

art project room ARTZONE

〒604-8031 京都市中京区河原町三条下一筋目東入の大黒町44VOXビル1・2階

TEL 075 212 9676

## [ULTRA AWARD審査員]

長谷川祐子(東京都現代美術館チーフキュレーター) 浅田 彰(批評家) 椿 昇(現代美術家)  
名和晃平(彫刻家) 後藤繁雄(編集者/クリエイティブディレクター)  
ヤノベケンジ(美術作家/ウルトラファクトリー・ディレクター)

## [関連企画]

### ■プレオープン

一般発表に先立ちまして、プレオープンいたします。お気軽にお越しください。

日時 10月7日(金)17:00~20:00(18:00~あいさつ)

会場 art project room ARTZONE

### ■審査員による公開審査会 / オープニング・パーティー

各作家によるプレゼンテーションを行い、出展作品の中から「最優秀賞」が決定されます。エントランスにて生中継を予定しています。

日時 10月8日(土)17:00~22:00(審査会は19:00までの予定)

会場 art project room ARTZONE

出演審査員 浅田 彰/後藤繁雄/椿 昇/名和晃平/長谷川祐子/ヤノベケンジ

### ■アーティスト・トーク

作家全員によるアーティストトークを行います。モデレーターを、ARTZONEスタッフ、似内達吉(京都造形芸術大学 芸術表現・アートプロデュース学科 3回生)が担当します。

日時 10月22日(土)15:00~

会場 art project room ARTZONE

**ULTRA FACTORY + ARTZONE + BY EDITスタッフによるdocument website 更新中!**

ULTRA AWARD 2011 DOCUMENT presented by ULTRA FACTORY + ARTZONE + BY EDIT

出展作家の紹介や彼らの日々の作品制作の裏側などに迫ります。

URL [http://ultrafactory.jp/ULTRA\\_AWARD2011/](http://ultrafactory.jp/ULTRA_AWARD2011/)

## [出展作家]



《無題》2009年

### 大島真悟 / Shingo Oshima

1985年兵庫県生まれ。2008年大阪芸術大学・工芸学科金属工芸コース卒業。2010年京都造形芸術大学大学院・修士課程芸術研究科芸術表現専攻修了。大阪芸術大学時代は金属を素材とした独自のキャラクター等を制作していたが、現在は「日常の中の何気ないもの」からおもしろさを見いだした作品や、自身が美しいと感じた素材を構成していく作品を制作している。木材、パイプ、石膏など、身近な素材でインスタレーション作品を制作し、その中で彫刻へと移行する可能性を探っている。

#### [展覧会歴]

2009年、「京都野外彫刻展」(京都府立植物園/京都)。2010年、「NIPPON ART NEXT」(京都造形芸術大学外苑キャンパス/東京)。



《m》2010年

### 神馬啓佑 / Keisuke Jinba

1985年愛知県生まれ。2008年京都造形芸術大学・美術工芸学科洋画コース卒業。2010年同大学院・芸術研究科美術表現専攻修了。身体とそれを取り巻く環境をテーマに絵画制作を行う。パズルのようにピースが組み合わさった絵画作品は、人間の脳に蓄積されている断片的な記憶と、異なる機能を持つ骨や臓器などの部位が集まる身体を、イメージの根源としている。複数の手製の道具で描かれた一つ一つのピースは、それぞれが個性的でありながら全体を構成する要素でもあり、身体のみならず都市や社会、世界の構造へと見るものの意識を誘う。

#### [展覧会歴]

〈個展〉2010年、「神馬啓佑展」(2kw gallery / 大阪)、「bodyとlanguage」(gallery raku / 京都)。

〈グループ展〉2008年、「世界展」(京都市美術館 / 京都)、「amuse art jam」(京都文化博物館 / 京都)。2009年、「アートアワードトーキョー丸の内2009」(行幸地下ギャラリー / 東京)、「混沌から躍り出る星たち2009」(スパイラルガーデン / 東京)。2010年、「G-TOKYO 2010」(森アーツセンターギャラリー / 東京)、「power of a painting」(island / 千葉)、「美術の宿題」(小野町デパート / 和歌山)、「わくわくkyotoプロジェクト」(元立誠小学校 / 京都)、「trans-plex」(Tokyo wonder site hongo / 東京)、「open / island」(3331 arts chiyoda 203号室 / 東京)、2011年、「渾變台日交流展 trans-plex」(關渡美術館 / 台北)、「修了制作展」(京都造形芸術大学 / 京都)ほか多数。



《自己顕示欲》2010年

### 高井裕 / Yu Takai

1984年岐阜県生まれ。現在京都造形芸術大学・情報デザイン学科先端アートコース4回生。自身が日本人の女性であることを重要としており、その属性を強く意識した制作活動を行っている。「社会の暗黙の了解で、存在しないことになっていること」に注目した成人向け漫画を使った作品や、「絵画の社会的価値」をテーマにした合成写真による作品発表を行う。また、バブル時代をモチーフにした演劇の脚本、演出を手がけるなど、多岐にわたる制作を行っている。



《kyabedon2 無題》2010年

### 土井裕介 / Yusuke Doi

1987年和歌山県生まれ。2011年京都造形芸術大学・美術工芸学科陶芸コース卒業。小さな器と壊れた玩具の破片や落ち葉などのガラクタが融合した陶芸作品を制作。食事に使われる“器”は生命の力強さを想起させ、役目の終わった“ガラクタ”はものごとの終焉を物語る。一見、不安定で弱々しく見える作品は、生と死の在りようを静かに示している。

#### [展覧会歴]

2009年、第二回どんぶり展「井な器展」(gallery H2O / 京都)。2010年、陶芸コース3回生進級展「ひふみ」(空・鍵屋 / 京都)、第三回どんぶり展「ドレミファソラシどんぶり展」(gallery H2O / 京都)、「京都同時代学生陶芸」展(元・立誠小学校 / 京都)、「第105回 京料理展示大会」(みやこめっせ / 京都)。2011年、「春のギャラリーセレクション」(ギャラリーモーニング / 京都)。



《wind velocity-2 wind velocity》2005年

### 王婷瑩 / Wang, Ting-Ying

1984年台湾台北市生まれ。2002年台北市立内湖高级中学卒業。2006年国立台北芸術大学卒業。2011年京都造形芸術大学大学院・芸術表現専攻入学。現在同大学・同専攻に在籍中。数式、言葉、記号などの図像化をテーマに、映像、写真、コンピュータプログラムなど多彩な領域で発表している。万人が同じ解釈で共有できるはずの数式を図像化することで、見る人それぞれの想像力を喚起させ、新しい解釈や多様性が生まれる場を創ろうと試みる。

#### [展覧会歴]

2004年、「国立台北芸術大学第18回美術学部展覧会」(国立台北芸術大学総合展覧庁/台湾)。2005年、「我々が一緒に」(国立台北芸術大学総合展覧庁/台湾)、「謝思華 王婷瑩聯」展(国立台北芸術大 - 南北ギャラリー/台湾)。2006年、「HOLA」(国立台北芸術大学 - 南北ギャラリー/台湾)。2007年、「五彩雲集 / 国立台北芸術大学第21届美術学部卒業展覧会」(国立台北芸術大学総合展覧庁/台湾)。2008年、「古人早干 / デザイナーのインターネット展覧会」(WEB上)。

#### [受賞歴]

2004年、国立台北芸術大学第18回美術学部展覧会 (< express respect to > 特別賞)

## [去年のULTRA AWARDの様子]



審査員陣と作家4名と1組



受賞者あいさつ



受賞作品《Xρδύος / Kαίτ'ρος》2010 ヴィデオ

第1回目の開催となった昨年は、42名の応募者の中から厳正なる審査を経て4名と1組のアーティストたちが選抜され、ウルトラファクトリーを舞台にそれぞれ公開制作を展開しました。100名近い方々が来場した、公開審査会では、約1時間半の審査会ののち、審査員陣の話し合いによって行われた協議の結果、最優秀賞は諫山元貴に決定しました。

ULTRA AWARDに選ばれた作家たちは、今もその経験を活かし制作を続けています。

## [ULTRA FACTORYとは]



ウルトラファクトリーは、2008年6月、京都造形芸術大学に全学生が使用できる工房として誕生しました。金属・木材加工、プラスチック成型等が可能で、マイクロマシンから巨大ロボットまで制作できる立体専門工房です。国内外で活躍する現代美術作家・ヤノベケンジをディレクターに、空前絶後の教育プログラムが次々と始動しています。その活動の中心となるのが、第一線のアーティスト/デザイナーを迎え実施するULTRA PROJECT（ウルトラ・プロジェクト）です。徹底した実践型カリキュラムでトップクリエイターの創造の現場を大学に持ち込み、学生との協働プロジェクトを行っています。

### 施設情報

名称:ULTRA FACTORY/ウルトラファクトリー

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116 京都造形芸術大学至誠館 B1(ウルトラ工房)  
及び人間館 B2(木工室)

開館時間:火～金曜日 10:00～20:00、土曜日 10:00～18:00 日・月・祝 休館

構成:ウルトラ工房(約700平米)は金属加工・樹脂成形の設備機能を備え、木工室(250平米)は木材加工の設備機器を備える。

主な設備:アーク溶接機、ガス溶接機、TIG溶接機、半自動溶接機、プラズマ切断機、施盤、フライス盤、コンターマシン、バイプロシヤ、手押し鉋盤、自動鉋盤、昇降盤、横切り盤、ボール盤、パネルソー、バンドソー、ユニバーサルサンダー、角のみ盤、レーザーカッター、カッティングマシン、大型出力プリンターほか